



三木町

No.134

2011.January

議会だより

<http://www.town.miki.lg.jp/>



こどもたちのししまい

12月定例議会

- 来年度予算に活かせ 6~7
決算に7項目を指摘
- 一般質問 8~14
7人が一般質問に立つ
- 元気なグループ紹介 16
田中亀鶴会



町の記念樹：メタセコイア

新春のご挨拶



議長 古市 弘



副議長 香西 茂知

新年明けましておめでとうございます。輝かしい平成23年の年頭に当たりまして、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。住民の皆様におかれましては、平素町政に對しましてご指導ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。日本経済、デフレ、円高によって、景

気回復の足取り重く、先進国最悪の財政赤字がのしかかる中、雇用情勢はまことに厳しい状況が続いています。

特に地方経済は、さらに悪化の傾向が強まっていると思われ

ます。そのような中、昨年12月16日には、平成23年度税制大綱が閣議決定されました。大きな柱は、12年ぶりの法人税の減税であり、国税と地方税を合わせた法人実効税率の5%引き下げであります。

また、12月24日の臨時閣議で関連法案の成立多難が予想される中、2011年度予算案が決定されました。

一般会計の総額は過去最大となり、新成長戦略と雇用対策に力点を置いたようですが、「未来かすむ改革なき予算」、財政健全化に程遠い感じがいたします。

本県関連では早期の四車線化を要望してまいりました高松自動車道高松東〜鳴門間52キロは、残念ながら当面見送られました。

そのような中、本町におきましては、社会資本の整備である下水道事業を始め、道路整備、防災対策と、山積する多くの重要課題に二元代表制の下で町当局と呼応いたし、鋭意推進してまいりたいと思っております。

最後になりましたが、平成23年卯年、うさぎは跳ねる脚力ある動物、干支にあやかつて、本町のさらなる飛躍発展と町民皆様方のますますのご健勝ご多幸を心よりご祈念いたしました。年頭のご挨拶といたします。



議会の動き

- 9月30 議会広報編集委員会
- 10月5 議会広報編集委員会
- 13 議会広報編集委員会
- 29 香川県町村議会議長会主催議員研修会
- 11月1 議会運営委員会
- 4 決算特別委員会
- 5 決算特別委員会
- 8 香川県広報発行町議会議会連絡協議会主催県外視察研修
- 9 第1回臨時議会
- 10 決算特別委員会
- 15 決算特別委員会
- 22 決算特別委員会
- 29 第2回臨時議会
- 建設経済常任委員会
- 12月3 教育民生常任委員会
- 8 第4回定例議会開会
(議案の質疑、討論、採決。
議案の上程、質疑)
- 9 総務常任委員会
- 9 教育民生常任委員会
- 13 本会議(一般質問)
- 15 本会議(議案の質疑、討論、採決、追加議案の上程、採決)閉会
- 21 議会広報編集委員会
- 1月6 議会広報編集委員会
- 13 議会広報編集委員会

12月 定例議会



▲本会議採決の様様

平成23年度から10年間の第5次三木町振興計画基本構想案を可決

平成22年第4回定例議会は、12月8日から15日までの8日間の会期で開かれた。平成22年度一般会計補正予算のほか、三木町消防団条例の一部を改正についてなど、9議案が上程され、各委員会や本会議で慎重に審議し、全議案を原案どおり可決した。

決算特別委員会に付託されていた平成21年度の各会計10件についても、本会議にて、全議案を認定した。一般質問では、7人が登壇し、町政運営の方向性、新年度予算編成方針、公共下水道、農業集落排水事業への今後の対応などについて、町長の見解を求めた。

また、人事案件では、副町長の選任に同意し、閉会した。

人事

副町長

井上和久氏の選任に同意



平成23年1月就任
高松市(61歳)

第1回臨時議会

平成22年11月9日開会

各委員会委員の
補欠選任等

総務常任委員会

委員 村松 修

下水道推進特別委員会

委員 村松 修

議会広報編集委員会

委員 村松 修

行財政改革推進特別委員会

委員長 筒井米市

第2回臨時議会

平成22年11月29日開会

町職員の時給・
ボーナス等を引き下げ

国の人事院勧告に準じ、中高年齢層の給料月額を引き下げを行うとともに、期末・勤勉手当を0・2カ月分引き下げるもの。また、特別職と町議は、期末手当を年間0・15カ月分引き下げる。ボーナスの年間支給月数は、一般職3・95カ月、特別職と町議は2・6カ月分となる。

議案を審議



▲筒井町長就任後初の定例議会

第5次三木町振興計画の基本構想を策定

「人と地域が輝き、活力と笑顔あふれるまち 三木」をキャッチフレーズに平成23年度から32年度までの10年間を期間とする計画の基本構想を策定するとの説明があった。

委員より、計画・策定が絵に描いた餅にならないようにとの意見があった。

瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定を変更

- ① 観光の振興
 - ② 環境学習の推進
 - ③ 環境負荷の少ない自動車の普及促進
 - ④ 地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供
- 以上の4事業を追加することによる変更である。

築後45年を経過した低所得者住宅を撤去

三木町低所得者住宅管理条例の廃止に伴い、三木町使用料、手数料徴収条例の中の「川原団地」の項を削除する。

問 今後の低所得者住宅を含めた公営住宅のあり方は。

答 総務課長

町の振興計画に沿い、老朽住宅の整理や適正な管理を行う。

平成22年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)

前年度繰越額等が確定したため、基金への積立等のための補正



問 国民健康保険税が高くなり、町民は保険税を払えない状況になっている。積立よりも保険税の引下げ等に充てるなどの検討はされたのか。

答 健康福祉課長

新型のインフルエンザ等の流行など、不測の事態に備える必要がある。県の指導もあり6億円程度の積立が必要と考えている。



▲大勢の傍聴者が見守る本会議場

各会計予算を補正

会計名		補正額	補正後の総額
一般会計(第4号)		3億1,303万9千円 追加	89億6,298万円
特別会計	国民健康保険事業	1億9,552万9千円 追加	31億3,092万9千円
	介護保険事業	(予算組替・財源補正)	23億4,765万円
	介護予防サービス事業	328万3千円 追加	2,318万3千円

委員会レポート

教育民生

12月開会

川原低所得者住宅の用途廃止

問 三木町低所得者住宅（川原）の用途廃止について、現地調査を実施し、当局の廃止理由等を審議し了承した。

答 入居者との協議はきつちりと出来たのか。その後の土地の管理方法はどうか。

住民生活課長

答 築後45年経過し、建物の傷みもひどく、住宅からの退去・移転の協議を行い、他の町営住宅に入居してもらった。

用途を普通財産とし、管理を総務課に移管替えし、「立入禁止」等の表示をしていきたい。

その他、小中学校の耐震補強工事がすべて

完了し、総事業費は13億7500万円であったことの報告。

学校適正化審議会から答申があり、平井幼稚園の本園・池戸分園・井上分園の統廃合について、再編等を視野に進めるとの報告。

池戸公民館改修工事および体育施設の報告等が行われた。



▲川原低所得者住宅撤去後の現地調査

建設経済

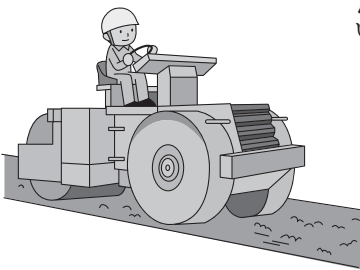
11月開会

陳情第4号「町道平尾鳥打線」を採択

問 継続審査となっていた「町道平尾鳥打線」の道路整備を求める陳情について慎重に審査した結果、全会一致で採択した。

答 本件のほか、未舗装道の対応は。

問 町長 順次年次計画を立て、使用頻度・必要性の高いものから、予算の範囲内で整備していきたい。



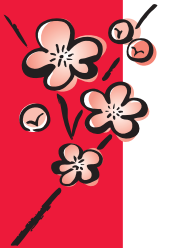
議員出欠表 (本会議のみ)

第1回臨時議会(11月)
第2回臨時議会(11月)
第4回定例議会(12月)

議員氏名	11/9	11/29	12/8	12/13	12/15
村松 修	○	○	○	○	○
富田 修司	○	○	○	○	○
渡辺 達実	○	○	○	○	○
三木 和則	○	○	○	○	○
香西 義典	○	○	○	○	○
白井 正治	○	○	○	○	○
三宅 貞夫	○	○	○	○	○
香西 俊之	○	○	○	○	○
古市 嘉忠	○	○	○	○	○
谷畑 健二	○	○	○	○	○
桑井 明人	○	○	○	○	○
原田 照治	○	○	○	○	○
筒井 米市	○	○	○	○	○
石井 定夫	○	○	○	○	○
香西 茂知	○	○	○	○	○
古市 弘	○	○	○	○	○

○は出席 ○は半欠 ×は欠席

今期定例議会の傍聴者は、延べ50人でした。
次の定例議会は、3月中旬の予定です。



7 来年度予算に活かせ！ 項目を指摘！

10件の決算を認定

9月の定例議会
で、決算特別委員会
に付託された21年
度各会計決算10件
は、8日の本会議
で、原田委員長の審
査結果報告に続き
採決が行われ、一般
会計および後期高
齢者医療事業特別
会計については賛成
多数、その他の特別
会計および水道事
業会計合わせて8
件については、全会
一致で認定した。
委員会では、5日
間審査した結果、7
項目を当局に指摘
し、来年度への対応
を提言した。
指摘事項は、次の
とおりである。
なお、これらにつ
いては、平成23年3
月定例議会におい
て、町長より状況報
告される。

1 経費の節減を図れ

先の町長選挙マニフェ
ストの中で、「無駄をな
くし、さらなる効率化
を進めるために、事業仕
分けを町民合意の中で
徹底するとともに、全
ての行事の簡素化と見直
しを行う」と明言してい
ることを踏まえて、次の
ように提言した。

提言

全ての事業の見直し
を行い、より効果的・
効率的に対応し、経費
の節減を図る等々、多
種多様化する住民ニ
ズに応えられたい。



▲獅子舞フェスタ

2 事業の円滑な 推進を図れ

問 農業集落排水事業
(井上北部)は、すでに
供用開始している中で、
全戸の接続達成を目指
し努力されたい。

答 参事

加入率の向上に努め
ていく。

提言

公共下水道事業およ
び農業集落排水事業の
推進にあたっては、浄
化センター建設につい
て住民の理解を深め、
事業の円滑な推進を図
られたい。特に、埋管
工事が施工されている
地域については、早期
の完成を望む。
また、管理運営で
は、供用開始後8年
経過している地域
(井上北部)全戸の
接続達成を目指し努
力されたい。

3 包括支援センター の充実を

問 包括支援センター
の充実を図っていか
なければならないが、

答 健康福祉課長

他市町の状況等を踏
まえ、検討していく。

提言

少子高齢化の進展
する中、子育て支援
を充実するとともに
に、乳幼児医療制度
および高齢者、障害
者、母子などの各種
医療制度について、
引き続き充実に努め
られたい。また、介
護ならびに予防対
策として、地域包
括支援センターの
充実・拡充に努め
られたい。



▲郵優～ゆうゆう～見守りサービス

4 収納率の向上を図れ

問 徴収対策の取り組みは。

答 税務課長

税務課職員全員で、収納率の向上を目指している。また、分納相談にも対応している。

提言

町税および住宅使用料などにおける滞納対策については、現況を把握し納税相談等を行うとともに、特に悪質と認められる者については、法的手段をもって、収納率の向上に引き続き努められたい。また、住民の利便性を図る観点から、納税方法等の多様化を検討されたい。

5 道路網の整備、交通安全施設の充実を図れ

問 町主要南北幹線道路の整備は進んでいるのか。

答 土木建設課長

早期に整備を進めるため、用地の買収等交渉中である。

提言



▲整備が待たれる町道砂入荒木線

道路網・生活環境整備として、特に、町主要（南北）幹線道路の早期整備を推進するほか、生活道路（町道および農道）における未舗装道の解消、山間部路線の整備、また、危険箇所については交通安全施設の充実を図られたい。

6 自主防災組織の活動の充実を図れ

問 自主防災組織の活動はどのような状況か。

答 総務課長

町内の自主防災組織の組織率は82%、各地で取り組みが行われている。

提言

今世紀前半にも発生が予想される南海・東南海地震に備え、自主防災組織の結成促進を図り、活動の充実に努められたい。



▲防災訓練

7 町内全域への路線拡大の検討を図れ

問 乗り合いタクシーなどの、調査研究は進んでいるのか。

答 政策情報課長

まんのう町など、実施している自治体の調査研究が続いている。

提言

コミュニティバスについては、高齢者や障害者などの、交通弱者の移動手段確保や利便性の向上に、より一層努められたい。また、予約制乗り合いタクシー等を調査研究し、町内全域への路線拡大を図られたい。

問 今後の町政運営の方向性は

答 「まちづくり」の指針を設け、
新たな振興計画をもって舵取りをする



一般質問
富田 修司 議員

まちづくりの基本理念は。

町長

まちづくりの原点は「人」であり「地域」であるという原点に立ち、「自助」「共助」「公助」の精神に基づき、策定している。

まちづくりの将来像は。

町長

「人と地域が輝き、活力と笑顔あふれるまち三木」と定め、「道険笑歩」の精神で、元気に明るく取り組んでいく。

町長のマネIFESTOに「職員の知恵が生かされ、風通しのいい職場で住民サービスの徹底を期します」とあるが。

町長

職員が自分の考えを上司に遠慮することなく、積極的に、かつ自由に発言することのできる職場に改善することによって、町民の皆様に対して、気持ちの良い接客対応ができるものと確信している。

「住民の皆様の声を反映できる機関を設け、町民一丸となったまちづくりを進めます」とあるが。

町長

効率的でかつ広範に町民の訴えを吸収する方策や、それらを審査する機関の立ち上げを検討している。

町民参画のまちづくりを推進していきたい。

自転車の安全対策

自転車を利用していらっしゃる人に、どのように交通安全の推進を図っているのか。

町長

自転車の乗り方やルールについて、学んでいた機会を設けており、広報誌や



▲交通安全教室(於:氷上小学校)

児童、生徒に対する交通安全教育は。

教育長

各学校では、毎週、あるいは毎月の集団下校時や、春、秋の交通安全週間、また学期初めや、長期休業日の後などに現地指導を行っている。

また、保護者と子供でつくる「安全マップ」づくりをしたり、高松東警察署や町の交通指

導員の協力を得て自転車教室を開催したり、自転車組合による自転車点検や、教員・児童生徒による自主点検を実施している。

このような実地を通して、ヘルメットの着用や一旦停止など、自転車の安全な乗り方や交通ルールの順守、マナー向上の指導に努めている。

町有施設の有効利用を

現在、休止中の田中幼稚園天枝分園の今後の利用予定は。老人憩いの場として活用できないか。

教育長

休園後4年を経て再開に見通しが立たない状況であり、今後については三木町立学校適正化審議会の中で、総合的に判断される事になると思う。

問 獅子舞フェスタの

今後の展開は

答 フェスタそのものあり方を検討する



一般質問
原田 照治 議員

農業集落排水道事業
三木東地区の処理場
用地はどうする

新開地区において土地
開発公社が先行取得し
ている土地に下水処理
施設を建設するの
か。また、建設しない場合
は、土地をどのように
有効活用するの
か。

町長

新開地区において
は、周辺住民の方々の
合意が得られる状況に
なく、現段階において計
画を進めることは、大変
難しいと考えている。

仮に新開地区に処理
場を作らなくなった場
合には、下高岡人権ま
ちづくり事業との整合

性を図りながら、活用
方法を検討する。

姉妹都市交流事業の
展開方針について伺う。

町長

国内交流、国際交流
については、これまでの
の交流で得た様々な収
穫や実績などを踏まえ
ながらも、交流の仕方
や経済面での効率化な
どを再度検討し直すこ
とは必要であると考え
ている。

獅子舞フェスタは三
木町の秋のイベントと
して定着したように感
じるが、投資効果の面
も懸念される。
獅子舞フェスタを今



▲三木町のシンボル白山

後どのように展開する
のかお伺いする。

町長

実施主体である
「ふれあいまつり振興
会」や住民の方々の
意見を取り入れなが
ら、投資効果を含め
て、獅子舞フェスタそ

のものあり方を検
討したい。

三木町のシンボルで
ある白山を桜で彩ると
いう白山景観整備事業
について、今後どのよ
うにするのか。

町長

今後桜の植栽を
進める場合、多額の
経費が見込まれると
ともに維持管理費が
増大することが予測
されることから、本年
度で一旦休止したいと
考えている。

本町が取り組んでい
る

経済雇用対策を問う

る経済雇用対策の内容
と効果および今後の基
本方針を問う。

町長

本町では、国の「緊急
雇用創出基金事業」や
「ふるさと雇用再生特
別基金事業」などを活
用して、雇用・経済対策
に取り組んでいる。

平成21年度の緊急雇
用創出基金事業では、
公共施設樹木剪定等整
備事業など9事業で26
人を雇用している。

一方、ふるさと雇用
再生特別基金事業で
は、地域農業再生事業
など2事業で4人雇用
している。

今後補助制度など
を有効に活用して、経済
雇用対策に取り組む。

介護保険制度を問う

だれもが地域で安心
して生涯を送れるよう
な社会を創出していく
必要があると思うが。

町長

第5期高齢者保険
福祉計画の中で、介護
予防サービスの充実や
スポーツ・レクリエー
ション活動などの推進
について検討し、可能
な限り、要支援・要介
護の高齢者が増えない
ように努める。

有害鳥獣被害対策は

本町におけるイノシシ
被害対策と成果および
抜本的な対策について町
長の考えを問う。

町長

イノシシを対象に、
電気柵やトタン柵等の
設置に対して助成を行
うとともに、狩猟期間
外に被害があった場合
は、猟友会木田支部に
捕獲駆除の依頼をして
いる。

今後他市町のイノシ
シ被害に対する取組み
事例を参考に、より効
果のある対策を講ずる。

問 下水道事業の解決には、住民の理解が重要

答 周辺住民の理解を得ることが第一



一般質問 渡辺 達実 議員

新しい町長のもとでの町政運営。町民のみなさんは期待している。下水道事業の解決について、地元の理解を得ることが重要と考えるが、どのような方策を講じるのか。

町長 本町が抱えている課題の中でも、最重要課題と位置づけている。事業を円滑に実施するには、周辺住民の理解を得ることが第一であると考えている。しかし、事業を凍結した場合は、供用開始が出来ず、投資効果がないことになり、これまで費やした事業費に係る国および県の補助金等の返還の可能性が

てくる。そのような事態にならないためにも、全精力を傾注して取り組んでいく。

今後の振興策は

少子化、高齢者福祉対策について、どのような考え方を問う。

町長

少子化対策については、国が検討している「子ども・子育て新システム」の動向を見定めながら、「こども園」についても検討を行い、真の子育て支援につなげていきたい。高齢者福祉は、要介護高齢者が急増する中、住

みなれた地域で誰もが安心して、自分らしい生活が送れるよう、地域全体で支え合い、見守りができるような体制づくりに努めたい。

来年度予算 福祉を向上させることが基本と考えるが

現在来年度予算の査定がおこなわれている。町民の福祉を向上させることが基本と考えるが、予算編成の基本的な考え方を問う。

町長

政策ごとに必要性、効率性を明らかにする「量の改革」、町民の満

足度を高める「質の改革」を推進していく。町民の福祉を向上させることを基本として編成していく。

町税滞納者への行政サービスの制限の廃止を

厳しい生活にあえいでいる町民のみなさんの現状に合っていない。廃止や凍結等、見直しを要望する。

町長

税負担の公平性の確保と、納税意識の高揚を目的にしたものであり、行政サービスを制限すること自体が目的ではない。あくまでも、悪

質な滞納者を対象にしたもの。滞納者には、納税相談を行い、弾力的な運用に努めている。

職員の待遇改善が必要ではないか

職員の定数が削減され、定数外職員が補っている。職員の待遇改善が必要ではないか。

町長

良好な労働環境の確保が住民サービスの向上につながる。病気休暇、特別休暇の取得な

ど、適正な労働環境の確保に努めていく。

太陽光発電の導入を

環境保全対策として、太陽光発電や風力発電の導入。省エネルギー器具等への転換など検討すべきでは。

町長

町自らが環境問題に対する姿勢を表す意味において、太陽光発電等の導入は検討すべき課題である。省エネルギー器具への転換は、積極的に進めていく。

女性職員の幹部登用を

人事政策として、女性職員の幹部職員への登用を検討すべきではないか。

町長

人事評価制度のもと、適材適所を基本に取り組んでいく。



▲男女共同参画講演会

問 新町長になっての抱負は

答 人づくりを押し進めたい



一般質問
香西 茂知議員

町長になって、4年間でこれだけはやりたいたいと思うことは何か。

町長

基本的には、住民本位の行政を行いたい。具体的には、最重要課題である下水道問題の解決・推進を図っていききたい。
あわせて、公約にある人づくりが町づくりだと思ふ。
歴代町長・議員、職員の功績で、立派な社会資本（各施設）ができてきている。それを活かした中で、人づくりを推し進め、明るい三木町に変わるよう、これから具体策を進めていきたい。

町を2分するような大きな選挙、いろいろな組織（老人会等）、そして12名もの議員が、他の候補者に、推薦・応援をしたことは事実である。その結果、お互いにわだかまり・しこりが多少残っていると思う。

私が思うに、他の候補者を応援した町民、町議会議員、そして筒井新町長も思いは同じである。三木町を住みやすく、住んでいてよかったと思ふ町づくりをしてもらいたい。ただ、支持・応援する人が違っただけである。
そこでお尋ねする。すべての町民、町議会議員に対して、どのような対応をするのか、お聞かせ願いたい。

町民に対しては、私のマニフェストを説明し実行していきたい。

町長

そしてもう一つ、町民が、執行部に対して、広く聞けるような機関を立ち上げ、町民の声を反映でき参画できるような町を作りたい。

そして、町議会議員は住民の代表の立場でありますから、尊重してまいり、町長選挙のことは「ゼロ」、白紙の状態であり、議員協力のものと、いい町、住みよい三木町のため、町政に取り組んでいきたい。

公共下水道および農業集落排水事業の今後の対応は。

町長

本町の環境問題を解決し、文化的な生活を確保するため、一日も早い事業の再開を目指して努力していく。
処理場の建設場所については、農業集落排水事業三木東地区は係争中であることから、新開地区では大変難しいと考える。
公共下水道の処理水を新川に放流することに反対している男井間池土地改良区など新川下流の4土地改良区とは、十二分に説明をしたが、処理水の

放流について理解が得られていない。今後は私自ら先頭に立ち、問題解決に向け、全精力を傾注し取り組んで行く考えである。

多和・三木線から北への道は

多和・三木線、旧長尾街道の突き当たった地点からの北への道、

井戸山田、川西の方向への道は、昔から地元要望があるが、どうなっているか。

町長

県議会議員のときからの思いは同じである。県が未曾有の財政難になり、すべての新規事業は中止になった。これからも立場が変わっても三木町長として要望する。



▲井戸交差点

問 下水道事業の対策は

答 周辺住民および関係者の理解を得られるよう最大限の努力をする



一般質問
石井 定夫 議員

公共下水道事業について伺う

公共下水道事業の今後の推進と対策について伺います。

町長

公共下水道処理場建設については、今後十分な説明を行い、誠意をもって周辺対策に万全を期するとともに、現在の計画場所での建設するためにも、関係各位の理解を得られるよう最大限の努力をする。

浄化センター周辺住民に対する取り組みは。

町長

浄化センターに隣接する四角寺南団地および周辺住民の理解が得られていないのは、説明時期の遅れ、説明不足

が大きな原因と考える。今後も、大水時に對する対策等十分に説明をし、センター建設に理解を得られるよう最大限の努力をする。

新川沿岸土地改良区への対応と取り組みについて伺う。

町長

新川沿岸土地改良区への対応は、説明会を開催して理解を求めているが、今後4土地改良区には、自ら先

頭に立ち、下水道整備で水質が向上することなど十分に説明をし、早く理解が得られるよう努力する。

公共下水道事業と農業集落排水事業との浄化センター一体化は実現可能か。

町長

公共下水道事業と農業集落排水事業の接続は、国が示した諸要件では井上南部地区は接続可能だが、三木東地区については、当該要件をクリアできないため個別に浄化センターを建設する計画となっている。計画変更等周辺住民の理解を得

る必要がある。



▲新川から三木浄化センター用地を臨む

農業集落排水事業について伺う

95%以上の参加同意を得て実施している事業をどう受け止めているのか。

町長

当然参加同意を得て実施する事業であるが、処理場建設の説明時期の遅れなどにより住民の理解が得られておらず、公共工事の推進とともに、住民の理解を得ることが肝要である。

新開地区での浄化センター設置計画は変更となるのか。

町長

新開地区浄化センターは、住民訴訟が提起され係争中で、大変難しいと考える。

三木東地区の処理水の再利用は。

町長

処理水の再利用は、現在のところ、ポンプアップにより山大寺池に放流の計画であるが、今後の下水道整備計画においても、処理水の再利用を検討する。

マンホールのふたデザイン



▲公共下水道



▲農業集落排水

問 町政に対する

意気込みを問う

答 人に投資する



一般質問
三木 和則 議員

抜本的な解決策は

中山間地区の田畑に目をやると、収穫を目前にした水稲はイノシシに荒らされ、見るも無残な様相を呈し、苦勞して作った野菜は、跡形も無くサルに持ち去られている。作る元気がなくなっている。なんとかならないか。

町長

イノシシ、サルによる被害対策として、防護柵の設置に対する補助や猟友会に対し捕獲数に応じた助成を行っている。駆除だけでなく、防護や予防も重要な対策であると考えている。

しかしながら、抜本的解決策が見出せないのが現状であるが、

今後、中山間地域の農家の人たちが、農業に夢と希望が持てるためには町として何ができるか、地域の人々と一緒に検討を行う。

産業振興課長

実績としては、昨年度イノシシ269頭、サル2匹、今年度は現在までにイノシシ123頭、サル2匹を捕獲している。

早期の有効活用を

平成18年3月をもって廃校となった旧神山



▲閉校した旧神山幼・小・中学校

幼・小・中学校の跡地がまだ草刈りはしているが、廃校時のままで建物内部は物置化している。この状態がつづくのはよくない。

町長

学校施設は地域住民にとって身近な公共

一般質問 三木 和則 議員

施設である。校舎などは地域のシンボリックな存在であり、廃校となった後でも拠点施設として有効に活用する事が大切である。

現在は、地域のイベント会場や集落の会合の施設として利用されているが、今後の活用については、地域に受け入れられる施設でならないことから「奥山をよくする会」と町が中心となり検討したい。

安心して走れるように

県道山南3線の改良工事が地元要望に対して思うほど進んでいな

い。また、中山間地域の町道や農道などの生活道路にしても傷みが激しいのにもかかわらず整備が進んでいない。対応を願いたい。

町長

平野部と山間部をつなぐ南北の県道が3線あり、この路線については、幅員の狭小な箇所から優先的に改良工事が進められている。

今後、町としては、中山間地域の活性化につながる県道3路線の早期整備完了を、引き続き松原県議とともに香川県に強く要望していきたい。

また、県道と接続する町道については、道路パトロールをより一層実施したうえで維持管理に努め、幅員の狭小個所の改良を順次進め、路面修繕に関しても早急な対応を実施したい。

町長の町政に対する意気込みを伺う。

町長

人をつくるのが、今後のまちづくりにとって一番大事だと思う。人に投資をしたい。

その他の質問の抜粋

無駄遣いの根絶を

町長

獅子舞フェスタのあり方の検討や白山景観整備事業の休止などを考えている。

職員給与の水準の向上を

町長

県内最下位である。早期の適正化に向けて検討する。

予約制乗合タクシーの実現を

町長

公共交通としての使命と均衡を図りながら検討する。

問 平成23年度予算編成方針は

答 徹底した事務事業の見直しと
歳出の抑制財源の確保に努める



一般質問
香西 義典 議員

不断の行財政改革の継続を図り、また、地方分権改革の進展も視野に入れながら、常に財政の健全性の確保に努め、最終的な経費負担者である町民の福祉向上させることを基本として編成すると考えるが、予算編成の基本的な考え方ならびに今後に向けての考えは。

町長

非常に厳しい財政環境と社会経済情勢の変化を認識した上で、徹底した事務事業の見直しと歳出の抑制、財源の確保などに努めながら、中長期的な視野に立脚し、本町が当面している様々な行政需要

に的確に対処して行くことから集中と選択を基本とし、編成を行う。また、今後は、国の「地域活性化臨時交付金」や「緊急創出事業交付金」等を重点的、また効率的に活用し、町民一人ひとりが真の豊かさや安らぎを実感できるよう積極的な地域経済対策を講じていきたい。

下水道の問題解決は

下水道事業については、現在、公共下水道事業（中部地区）は、男井間池土地改良区ほか3土地改良区より、処理水を新川へは絶対に放流しな

いようにする要望書、周辺自治会から、汚水処理場の建設反対などが起きた。また、農業集落排水事業（三木東地区）は新開地区に決まったものの、建設に反対する住民が住民訴訟を起しており、双方とも事業が中断され暗礁に乗り上げていく状況である。このような中、下水道事業の再開に向けて、どのような計画を考えているのか。

町長

下水道事業の今後の推進に当たり、本町の下水道整備計画、すなわち公共下水道事業、農業集落排水事業、合併処理浄化槽整備事業のエリアの見直しな

ども視野に入れながら、議会、特に下水道推進特別委員会において十分に協議して進めていきたい。

町づくりは人への投資、少子化対策、高齢者福祉、スポーツ、芸術文化振興の具体的な施策は。

町長

「少子化対策」は地域で子育て援助活動をすることで、仕事と育児の両立支援と地域の子育て支援を行う「ファミリー・サポートセンター」事業も、瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定書を高松市と

締結し、平成22年度から取り組んでいる。「高齢者福祉」については、住み慣れた地域で誰もが安心して、自分らしい生活が送れるよう、まずは介護状態にならないような予防活動の推進が重要である。要介護状態となっても地域社会全体で支え合い・見守りができるような体制作りを推進する。

「スポーツ、芸術文

化振興」については、町づくりの基本は人づくりであり、その人づくりの手段としてスポーツ芸術文化の振興は欠かすことができない重要なものであると考えている。スポーツを通じてたくましい人づくりを、また、芸術文化を振興し、感性豊かな人づくりを行い、活力ある町づくりを目指す。



▲野球教室

契約しました

地域活性化・経済危機対策 臨時交付金を活用

契約名

町有小型バス購入

契約方法

4社による指名競争入札

契約金額

1,026万9千円

契約の相手

香川日野自動車株式会社

このたびの補欠選挙については溝渕清美議員の死去に伴い、町長選挙と同時に10月10日に投票が行われ、10月11日に当選告示がされた。



村松 修氏
(井上:61歳)

町議会議員補欠
選挙で議員決まる

地方自治の振興に功労があつたとして、衆井議員が、四国地区町村議会議長会自治功労(在職20年)表彰され、その伝達が、12月8日の本会議場で行われた。



衆井 明人 議員

自治功労表彰

請願・陳情のゆくえ

平成22年 陳情第4号 (平成22年5月18日 受付)

町道平尾鳥打線の道路整備を求める陳情

12月8日
採択

三木町大字平木1123番地 代表者 柏村 孝一 外104名

(平成22年10月1日 受付)

なくせじん肺全国キャラバン要請書

議員へ配布

2010年なくせじん肺全国キャラバン四国実行委員会 代表 全日本建設交通一般労働組合四国地方協議会議長 山本 淳夫

(平成22年11月4日 受付)

地域医療と国立病院の充実を求める陳情書

議員へ配布

高松市屋島西町2470-11 全日本国立医療労働組合香川地区協議会 議長 原田 淳二

(平成22年11月4日 受付)

大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情書

議員へ配布

高松市栗林町2丁目14-39 香川県医療労働組合連合会 執行委員長 米本 武文

(平成22年11月5日 受付)

保育制度改革に関する意見書提出を求める要望書

議員へ配布

高松市今里町1丁目7-2 香川保育問題連絡会 中田 耕次

(平成22年11月10日 受付)

国保と介護保険制度の改善を求める陳情書

議員へ配布

高松市栗林町1-6-4香川民医連内 香川県社会保障推進協議会 会長 松尾 邦之

元気なグループ紹介

田中亀鶴会

会長 高澤 苟太

亀鶴会といっても田中には第一、二、三の三団体があり、当地区独自の事業に関しては、合同で活動しています。そのグループを簡単に紹介します。

本来の活動だけでは魅力に欠け、会員も減少傾向にあり、会員と相談の結果、五つのクラブが誕生しました。まずはグラウンドゴルフ。四十塚の町有地を借用、雨天以外毎朝寒空に歓声が響き渡り、二十名で活動しています。

第二に、昨年新聞等で話題になった「ほっぼら焼き」。村おこしの一端として昨年からフェスタの物産展に参加、

いまやB-1グランプリを目指す勢い。

そして、フォークダンス部。小学校の運動会、イベント等に参加。昨年は、老人大学演芸大会に初出演、十八名で張り切っています。

さらに吹矢。内臓系によく、老若男女問わず室内競技で、日本吹矢連盟の三木支部を開設。県大会、高知県大会で優勝を重ね、栄えある栄冠に輝き、部員十五名で構成。

極めつけは、ウォーキング。地区の史跡探訪を兼ね、和気藹々の中歩いた後、しっぼくうどの振る舞い。毎回五十人程度の参加。そのほか芸能部等紹

介したいことがたくさんありますが、今や地区外からの入会希望者も増え、六十代の加入者も多く、うれしい次第です。どうか、興味のある方はどうぞご見学に。



▶フォークダンス
(於：老人大学演芸大会)

議員の辞職許可等

三木町議会議員の西丸一明氏が、10月5日に三木町長選挙の候補者となったため、公職選挙法89条、第90条の規定により失職した。

また、三木町議会議員の松原哲也氏から10月12日付で提出された辞職願が、同日付で許可され辞職した。

お気軽に議会を傍聴しませんか

本会議の傍聴人の定員は、30人となっていますが、当日の午前8時30分で、傍聴希望者が30人を超える場合は、抽選を行います。

なお、定員の30人に満たない場合には、先着順に事務所にて所定の手続きの後、随時、傍聴券をお渡しします。

●お問い合わせは、議会事務局へ
☎(087) 891-3311

次の定例議会は、3月中旬の予定です。

編集を終えて

あけまして、おめでとうございませう。

政府の平成23年度予算案が決定したが、前年予算に比べ0.1%増の約92兆4千億円となり、税収見込みは約41兆しかないのに、新規国債発行額(国の借金)は約44兆3千億円、2年連続、税収を上回り、なんだか国の先行きにとっても不安を感じる年の初めだ。そんな中、去年の明るい話は、県内が「瀬戸内国際芸術祭でにぎわう」で105日間の会期中、約94万人の出入があり、とても活気があったという事だ。本町でも去年10月に町長が代わり、新しい街づくりが始まったばかりだが、卯年の今年は新町長の下、三木町が大いに発展を遂げてほしいと思う。

(S・T)